



完成予想図 蒼滝大橋より

■大型車両運行予定


資機材の搬入にともなう交通規制を行う際は事前にご連絡をいたします。


運 行 箇 所	10月		
	10	20	31
町道湯の山温泉山岳線 三交湯の山温泉バス停 ～ロープウェイ (A1橋台)	交通規制(路肩規制のみ)		
町道三の瀬養鱒場線 三交蒼滝口バス停 ～蒼滝公共駐車場 (P1・P2橋脚)	大型車両運行予定あり(上部工工事)		
国道477号線 旧鈴鹿スカイライン (A2橋台)	片側交互通行規制あり		

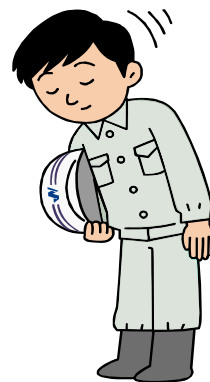
■上部工工事以外の橋梁関連工事の予定

上部工工事以外にも、橋梁と道路の取付け部における道路改良工事や斜面保護工事等が実施・予定されております。なお、上部工工事以外の詳細情報については、発注者へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

■連絡先

発注者 :  三重県四日市建設事務所 事業推進室 道路課
TEL 059-352-0675

施工業者 :  日本ピーエス・川田建設 特定建設工事共同企業体
TEL 059-391-6050



MONTHLY INFORMATION SEP.2017



現況写真(H29.9.14撮影)

湯の山大橋(仮称)工事だより



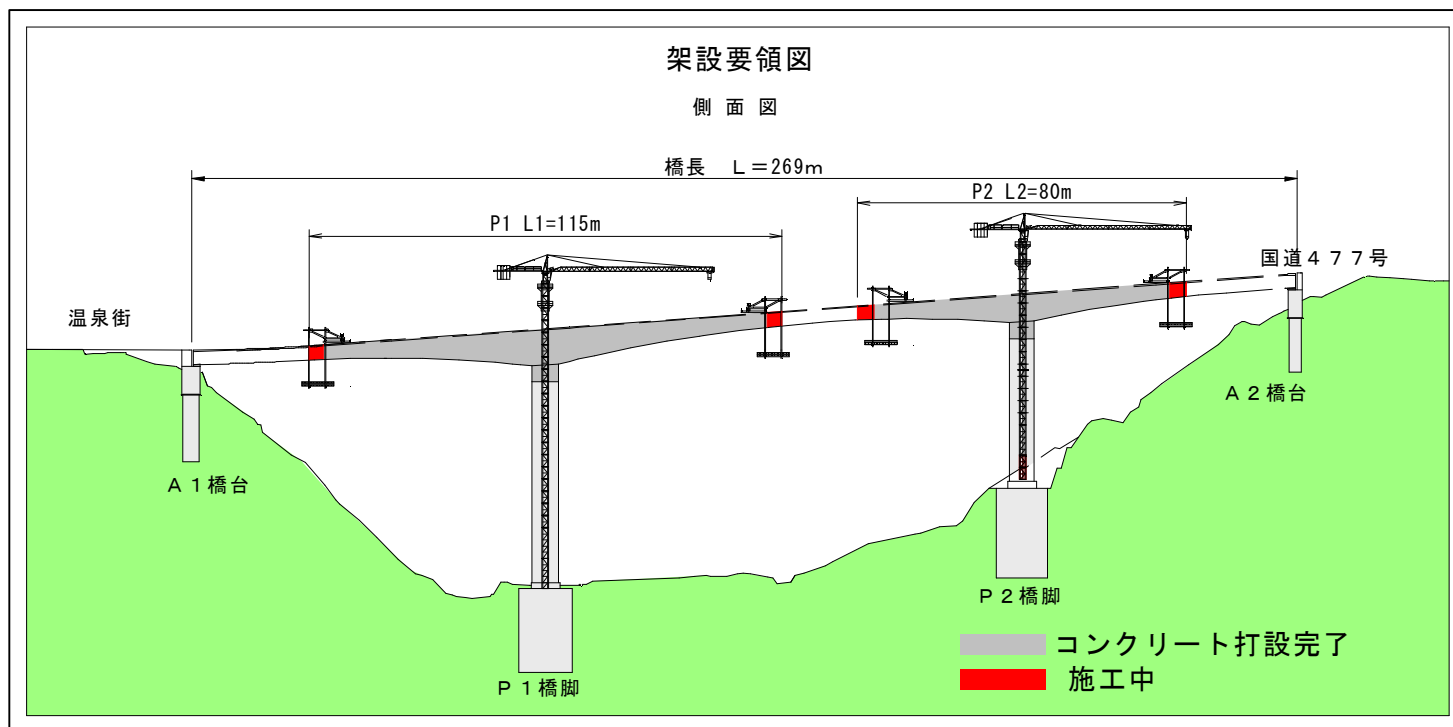
湯の山大橋(仮称)工事だより

平素より、公共工事に対しましてご理解とご協力いただきまことにありがとうございます。夏の暑さが落ち着いてきたこの頃、いかがお過ごしでしょうか。

9月も先月に引き続き、P1橋脚・P2橋脚ともに張出架設（約2～4mずつ、やじろべえ式に張り出す工法）の施工を行っております。両橋脚とも、中央に向かって大きく張出し、橋面の方も長くなってまいりました。

張出施工も終盤となり、今一度、施工に対する教育・指導を徹底していきます。また、昼夜間の気温差も大きくなってまいりました。体調等に充分お気を付けください。本工事に対する、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

9月の工事箇所



10月の
：工事箇所

品質管理 ～グラウト管理～

先月号に引き続き、品質管理“グラウト”についてお話しします。

グラウトとは、セメント + 水 で構成されるもので、PC鋼材の保護・コンクリート部材の一体化を目的としています(8月号参照)。

現場施工でグラウトを注入するまでには、以下のステップがあります。

①材料の計量・材料温度確認



グラウト材配合確認状況

②材料の練り混ぜ



グラウト材練り混ぜ状況

水→セメントの順序でミキサに投入し、120秒間練り混ぜます。

③品質管理

3-1.流動性試験・練り上り温度確認



流動性試験状況

3-2.単位容積質量試験



単位容積質量試験状況

練り上がったグラウトを、一定の容器に入れ、その値から、水とセメントの割合を計算より求めます。

2つの試験から以下のことを確認することができます。

3-1.流動化試験

→練り上がったグラウトが適当な粘性であるかどうか。

3-2.単位容積質量試験

→練り上がったグラウトが計画した、水とセメントの割合で練り上がっているかどうか。

各試験には、規格値が決められており、規格値を一つでも満足しないと、グラウトの注入はできません！



④グラウト注入

品質試験を満したグラウトを注入します。



グラウト注入状況

円筒容器の中に練りあがったグラウトを入れ、流出するまでの時間を測定します。